

## 会員総会・授賞式(受賞記念講演)の参加者マニュアル

### 利用サービス

- ・本研究大会は、オンライン会議サービス「Zoom」を利用します。ソフトは以下からダウンロードできます。  
<https://zoom.us/client/latest/ZoomInstaller.exe>

### I. 会員総会

#### 会員総会への入場方法

- ・事前登録くださった方には、大会前に、Zoom 会議へのリンクやパスコードの情報をメールにてご案内しております。そちらを参照して、12 月 4 日 16 時 40 分から 17 時の間に、次のような手順で会場へ入場してください。
  - (1)参加会場の Zoom URL にアクセスする。
  - (2)ダイアログが出てきた場合は、それに従って進む。出てこない場合は次の作業に進む。
  - (3)入場用パスワードが求められるので入力する。
  - (4)「ビデオオフで参加」を選択する。
  - (5)「ミーティングのホストは間もなくミーティングへの参加を許可します、もうしばらくお待ちください。」というメッセージがあらわれる。総務委員が、会員名簿リストと照合し、会員資格の確認の後に入場を許可する。
  - (6)「どのように音声会議に参加しますか？」には「コンピューターオーディオに参加」を選択する。
- ・ビデオがオフ、音声ミュートになっていることを確認してください。
- ・そのまま、開始時間まで待機してください。

#### 名前の表示

- ・Zoom プロフィールの名前は、かならず実名を使用してください。記号や明らかな<sup>かめい</sup>仮名の場合は、「表示名を本名に改めてください」と個別にお願いすることがあります。またできる限り、名前と所属の双方がわかる名前の表記にしてください(スズキタロウ@A大学など)。

#### 参加機材

- ・コンピューター内蔵のスピーカーとマイクをそのまま利用すると、発言の際にマイクがスピーカーから流れる音声や周囲の騒音を拾って、会場全体に流れてしまいます。エコーキャンセリング機能付きのマイク、もしくはイヤホンやヘッドフォンを利用ください。

#### 配布資料の入手方法

- ・総会で用いる配付資料は、Zoom のチャット機能を通じて参加者と共有する予定です。

#### 会員総会における質疑

- ・審議事項と報告事項では、会員からの質問を受け付けます。質問は、ビデオカメラをオンにした状態で、音声による発言を通して行ってください。
- ・質問のある方は、発言前にあらかじめ、チャット機能を利用して公開で「〇〇に対して質問があります」というメッセージを送信ください。その際は、プライベートメッセージではなく、全ての参加者がみられる設定でお願いします。また、議長が質問の有無を呼び掛けた場合は、挙手機能を利用して質問の意思表示をするようお願いいたします。
- ・質問を提出後、議長から「〇〇会員、質問をどうぞ」と呼び掛けを受けましたら、ビデオをオンにしてご発言ください。それ以後は、議長の差配に従ってください。

## II. 東南アジア史学会賞授賞式および受賞記念講演

### 史学会賞授賞式および受賞記念講演への入場方法

- 同日 16 時から 17 時に行われる会員総会に参加された方は、そのまま授賞式の開始時刻(17 時 10 分)までお待ちください。
- 事前登録くださった方で、会員総会に参加されなかった方は、大会前にメールにて案内のあった Zoom 会議へのリンクやパスワードの情報をもとに、17 時から 17 時 10 分の間に、次の方法で会場へ入場してください。
  - (1)参加会場の Zoom URL にアクセスする。
  - (2)ダイアログが出てきた場合は、それに従って進む。出てこない場合は次の作業に進む。
  - (3)入場用パスワードが求められるので入力する。
  - (4)「ビデオオフで参加」を選択する。
  - (5)「ミーティングのホストは間もなくミーティングへの参加を許可します、もうしばらくお待ちください。」というメッセージがあらわれる。直前の会員総会が長引く可能性もありますので、そのまま待機してください。会場が整い次第、入場が許可されます。
  - (6)「どのように音声会議に参加しますか？」には「コンピューターオーディオに参加」を選択する。
- ビデオがオフ、音声ミュートになっていることを確認してください。

### 名前の表示

- Zoom プロフィールの名前は、かならず実名を使用してください。記号や明らかな<sup>かめい</sup>仮名の場合は、「表示名を本名に改めてください」と個別にお願いすることがあります。またできる限り、名前と所属の双方がわかる名前の表記にしてください(スズキタロウ@A大学など)。

### 参加機材

- コンピューター内蔵のスピーカーとマイクをそのまま利用すると、発言の際にマイクがスピーカーから流れる音声や周囲の騒音を拾って、会場全体に流れてしまいます。エコーキャンセリング機能付きのマイク、もしくはイヤホンやヘッドフォンを利用ください。

### 配布資料の入手方法

- 授賞式および受賞記念講演の資料は、Zoom のチャット機能を用いて参加者と共有する予定です。

### 受賞記念講演における質疑

- 受賞記念講演では、基本的に、会員からの質問は受け付けません。
- ただし、時間に余裕がある場合は、司会者の裁量で質問を受け付ける事があります。その際は、チャット機能または挙手機能を利用して、質問の意思表示をしてください。

\*本マニュアルは、第 102 回大会で使用したマニュアルを改訂したものです。なお、第 102 大会マニュアル作成にあたっては、第 2 回インドネシア研究懇話会(KAPAL)のマニュアルを許可を得て参考にさせていただきました。